

宇鉄遺跡出土の碧玉製管玉に関する基礎的研究

根岸 洋¹⁾・大上立朗²⁾・太田 圭³⁾・岡本 洋⁴⁾

Archaeological Study of Jasper Cylindrical Beads (Kudatama) Found at Utetsu Site

NEGISHI Yo, OHKAMI Tatsuro, OTA Kei and OKAMOTO Yo

キーワード：宇鉄遺跡、碧玉製管玉、弥生中期、流通

1. はじめに

宇鉄遺跡は津軽半島の先端、外ヶ浜町字三厩釜野澤に所在し、1975年～1977年および1987年に青森県立郷土館によって弥生時代の地点の発掘調査が行われた遺跡である。先に刊行された発掘調査報告書（岩本ほか1979）の表題が「宇鉄Ⅱ遺跡」であったために、研究書等ではその名称で知られているものの、これは同遺跡「第2地点」という意味を表す名称に過ぎない。本稿では遺跡名として宇鉄遺跡を用いるが、土器型式としては通例に従い「宇鉄Ⅱ式」を用いることにしたい。

本遺跡では弥生時代中期の土坑墓19基、土器棺墓4基および住居跡状遺構1基が検出されており、墓に伴う副葬品として碧玉製管玉366点（うち2点は寄贈品）が出土したことで知られている。その重要性に鑑み、1991年6月21日に土器・石器・他の玉類も併せて国の重要文化財に指定されたものの、前述した発掘調査報告書では碧玉製管玉の法量の詳細について記載されなかったことから、弥生時代の管玉研究において十分に活用されていないのが現状である。そこで筆者らは2020年3月にこれらの法量計測を実施し、東北北部および北海道南部から出土した碧玉製管玉と比較して考古学的特徴を把握することにした。

本研究を実施した背景として、近年青森県内において弥生時代の碧玉製管玉の報告事例が増加している点が挙げられる。まず八戸市の是川中居遺跡では、弥生前期（砂沢式期）の太形管玉の一括資料が報告され（村木・小久保2004）、本県における弥生系管玉の出現が、全国的に見ても極めて古い時期にまで遡ることが明らかになった。次いで二枚橋(1)遺跡（青森県むつ市）では土坑墓（SK85）に伴う細形管玉が報告され（浅田ほか2017）、筆者のうち根岸は本土坑墓が二枚橋式の最古段階であることを論じた（根岸2020）。さらに2020年度の青森県埋蔵文化財調査センターによる調査では、舟場向川久保(2)遺跡（青森県七戸町）で130点の細形管玉が出土したと報じられた。碧玉製管玉は垂柳遺跡（青森県田舎館村）をはじめとする津軽平野の遺跡群や、弘前大学人文社会科学部北日本考古学研究センターに寄贈された高橋啓一氏収集品（二枚橋(1)遺跡採集品）にも含まれており、弥生前期から中期にかけての碧玉製管玉の変遷が明らかになりつつある。他方、碧玉製管玉については蛍光X線装置を用いた産地推定（藁科・福田1997等）が続けられているほか、法量規格に基づく時期・地域別の変遷が検討されている（大賀2001・2011）。近年の出土資料に加えて宇鉄遺跡出土資料の法量が明らかにされれば、青森県内のみならず東北地方全体の弥生研究に資するデータになり得るし、恵山式文化圏との比較も可能になると考えられる。

本論の構成は以下の通りである。問題の所在と経緯について述べた後（1）、碧玉製管玉が出土した土坑墓・土器棺墓の特徴と出土状況を時期別に把握する（2）。その際、宇鉄遺跡と共に時期的に古い二枚橋(1)遺跡についても触れる。次に碧玉製管玉の法量の検討を行う（3）。宇鉄遺跡出土管玉は青森県立郷土館の常設展示品であり、効率的かつ安全な資料調査を行う必要があったため、356点が出土した第14号土坑出土資料は全長・直径を計測するに留めた。碧玉製管玉の法量について青森県内出土資料と比較し、宇鉄遺跡出土管玉の特徴を把握すると共に、恵山式文化圏から出土した碧玉製管玉との比較を行う。最後に、東北北部における碧玉製管玉の流通について若干の考察を行う（4）。

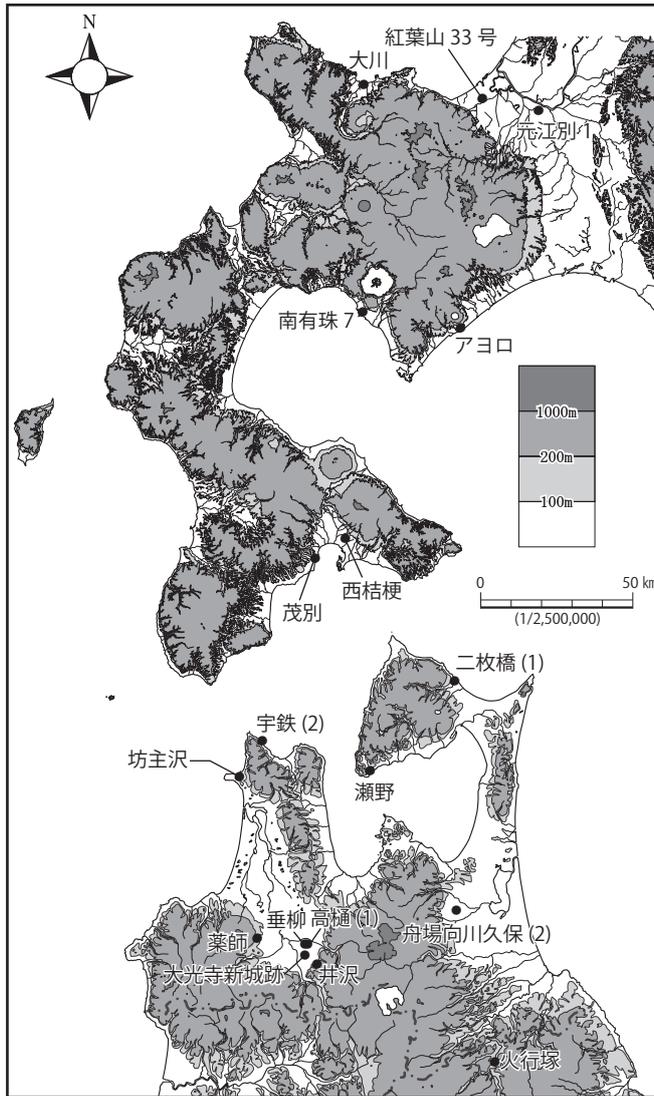
なお、本論で言及する弥生Ⅱ・Ⅲ期の遺跡は第1図に示した通りである。青森県域を中心に、本州は米代川流域や馬淵川・新井田川流域を南限とし、北海道は恵山式文化圏を対象として石狩低地帯を北限とする。

2. 碧玉製管玉に伴う土坑墓・土器棺墓の特徴

（1）二枚橋式期（弥生Ⅱ期古）

二枚橋(1)遺跡85号土坑は長軸172cm、短軸124cmで楕円形を呈する（第2図A）。底面から甕形土器2点が並

1) 国際教養大学 2) 秋田県埋蔵文化財センター 3) 東京大学大学院人文社会系研究科 4) 青森県立郷土館



第1図 弥生Ⅱ・Ⅲ期における碧玉製管玉出土遺跡

んで出土し、碧玉製管玉5点を伴う。当該遺構の周辺から細形管玉12点も出土しており、これらは本来本遺構に伴ったものと推定されるため、細形管玉は完形品・破損品も含めて合計17点(同1～17)となる。結節沈線を持たない甕形土器2点(同18・19)は40号土坑出土土器と共に、二枚橋式土器の最古段階に位置づけられる(根岸2020)。二枚橋式は弥生中期前葉(Ⅱ期)の土器型式であり、その細分は研究者間で異なるが、二枚橋(1)遺跡を古く、瀬野遺跡を新しくみる点では一致している。瀬野遺跡(伊東・須藤1982)出土の太形管玉の破片は、二枚橋(1)遺跡の細形管玉(同1～17)よりも新しく位置づけられる。

(2) 宇鉄Ⅱ式期(弥生Ⅱ期新)

宇鉄Ⅱ式は、宇鉄遺跡の土坑墓群とは別地点(「第2地点」)から出土した土器群(「第Ⅱ群土器」)を基準として設定された、弥生中期の土器型式である(岩本ほか1979)。須藤(1983)は本型式を「田舎館Ⅰ群土器」とも呼び二枚橋式直後に置いている。筆者のうち根岸は須藤と同様に、宇鉄遺跡第2地点出土土器群を二枚橋式の新しい段階と併行するとみなし、同遺跡「第1地点」の第12号土坑出土土器群を基準として宇鉄Ⅱ式と捉えているが(根岸2020)、地点名と名称に齟齬が生じるほか、本型式の範囲と恵山式との併行関係については研究者間で齟齬が見られる。

土器編年の問題はさておき、二枚橋式直後の本段階も弥生Ⅱ期の範疇に位置付けられている点、さらに本段階に位置づけられる東北北部の土坑墓には碧玉製管玉が伴っていない点も再確認しておきたい。

(3) 田舎館式期(弥生Ⅲ期古)

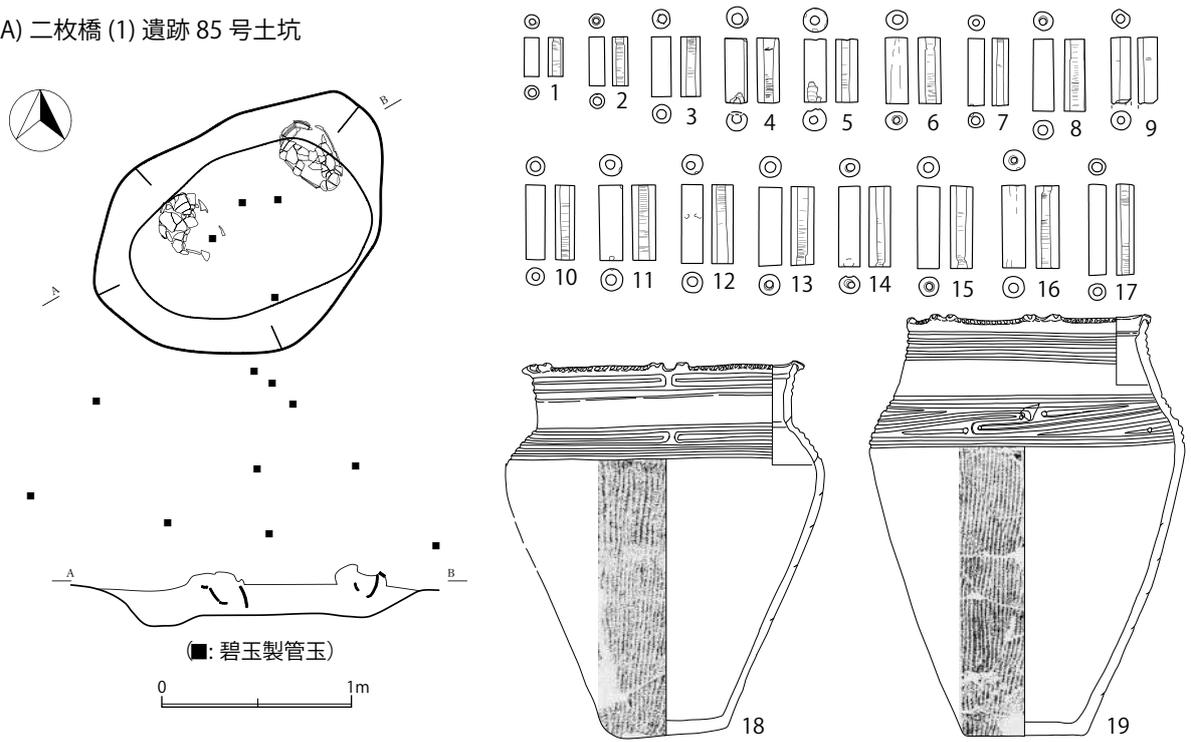
宇鉄遺跡14号土坑(第2図B)は長軸187cm、短軸120cmを測る楕円形の土坑で、細形管玉356点が出土した土坑墓である。管玉は本遺構の最下層、つまり赤色顔料を含む文化層から出土しているが、この層には土器が伴わない。しかし本遺構の上には土器片が出土しており、本論ではこれらを本遺構の時期を示す土器群として取り扱う。なお人頭大の礫が覆土に含まれるものの、管玉や土器片との関連が不明瞭であることから、底面に土器や礫を設置する「南川型葬法」(加藤ほか1983)と類似するが厳密には異なる。「南川型葬法」に最も似通うのは11号土坑である。

当該遺構上面から出土した土器群のうち、連続山形文を肩部下に施す短頸の壺(第2図23)は田舎館式であり、胴下半の器形は倒卵形を呈するタイプと考えられるため、須藤(1983)の分類による「田舎館2群」に相当する。ただし、くの字状に強く屈曲する肥厚口縁部はあまり多くは見られず、垂柳遺跡1981年度調査区出土壺(葛西・高橋1982:p.20の2)や高樋Ⅰ遺跡出土壺(田舎館村教育委員会1987:p.42の15)に類似している。田舎館式の中でもより新しい段階と考えられるものの、田舎館式の編年については共通理解がはかられていない(大坂2010)ため詳述を避けておきたい。

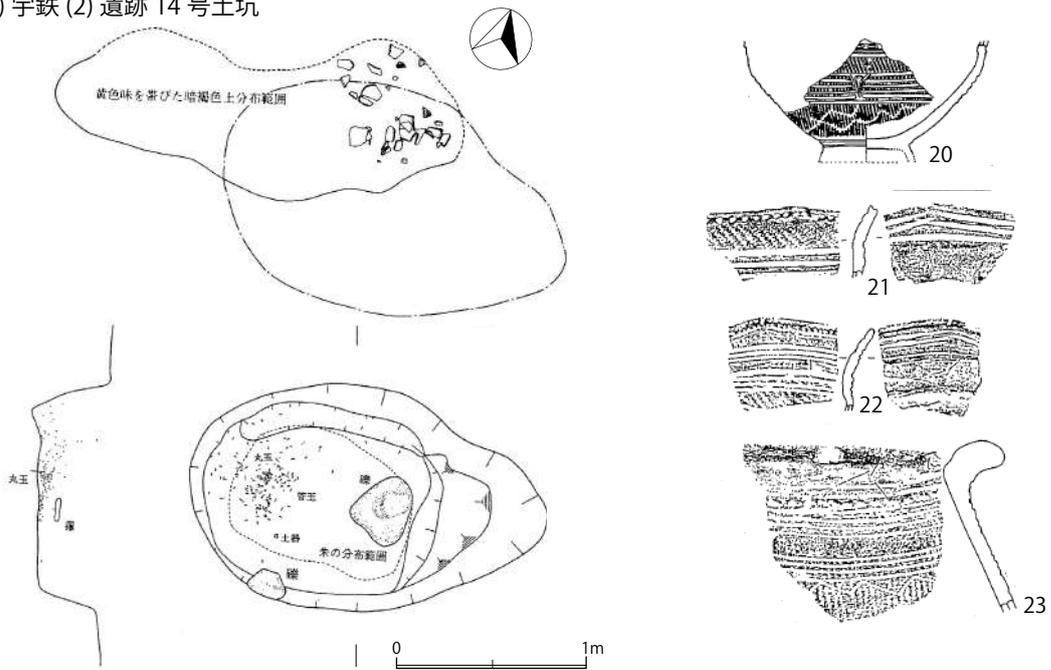
長軸132cm、短軸80cmを測り、やはり楕円形を呈する宇鉄遺跡第28号土坑もこの段階である(第2図C)。端部に礫が立てかけられるように検出され、覆土中から細形管玉4点(同26～29)が出土している。

1987年度調査地点から、やはり田舎館式の土器棺墓が2基見つかった(第3図A・B)。報告書中では「宇鉄Ⅱ式期」の土坑墓と記載されているが、大形壺を狭い土坑内に埋置していることから土器棺墓とみなしておきたい。また土器の型式学的特徴から見ても田舎館式期の大形壺と考えられる。1号の細形管玉(同2・3)および2号に伴う太形管玉は、いずれも土器棺内部ではなく棺身と壁の間から出土しており、埋葬行為に際して装身具を遺体から外すような葬法がとられた可能性もある。細形管玉が完形を保つものに対して、太形管玉が破碎されているのは弥生Ⅱ期の薬師遺跡(神ほか2014)とも共通する特徴である。

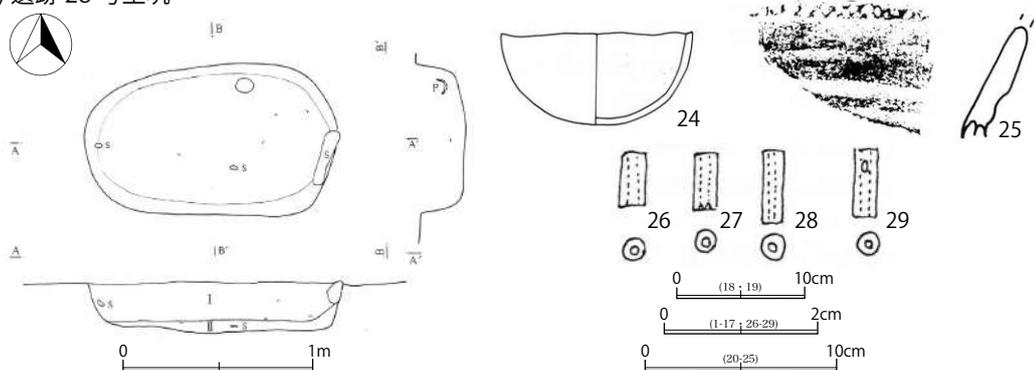
(A) 二枚橋 (1) 遺跡 85 号土坑



(B) 宇鉄 (2) 遺跡 14 号土坑

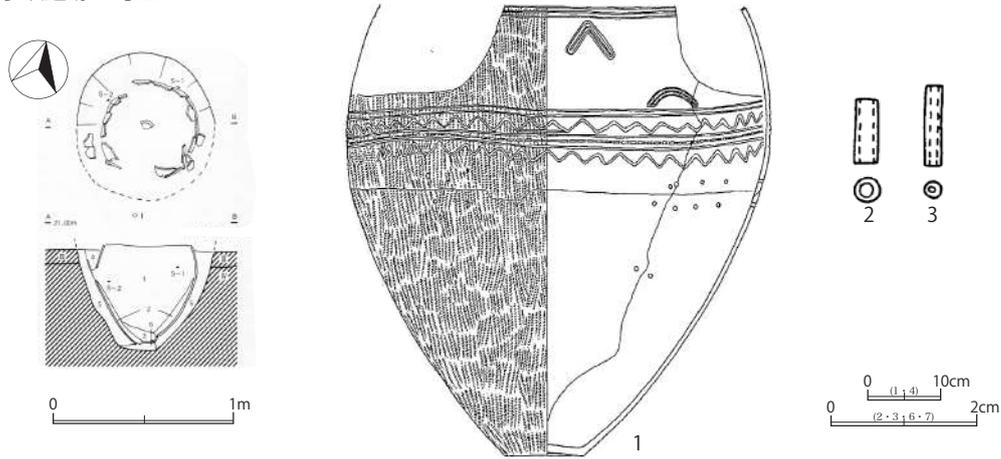


(C) 宇鉄 (2) 遺跡 28 号土坑

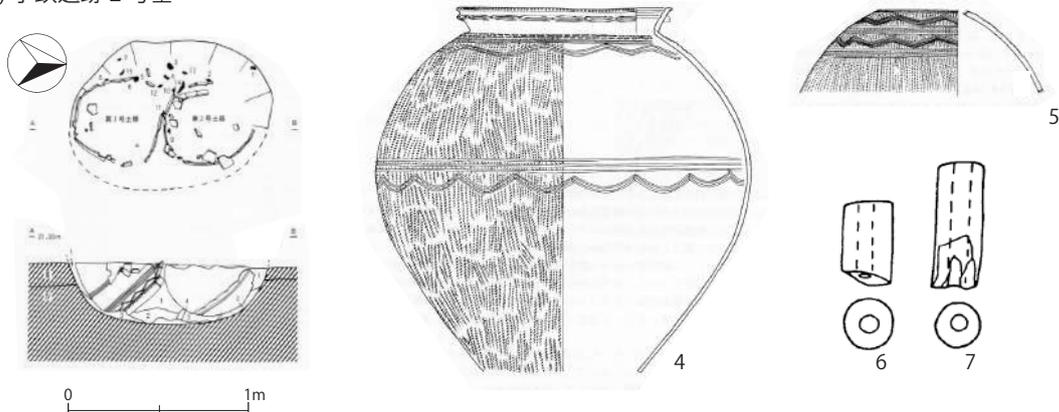


第 2 図 碧玉製管玉が出土した土坑墓と出土土器 (1)

(A) 宇鉄遺跡 1 号墓



(B) 宇鉄遺跡 2 号墓



第 3 図 碧玉製管玉が出土した土坑墓と出土土器 (2)

3. 碧玉製管玉の法量の検討

(1) 弥生 II 期 (中期前葉)

二枚橋式期および宇鉄 II 式期に位置づけられる碧玉製管玉が、大賀克彦氏によって定義された碧玉製管玉の「領域」(大賀 2001・2011) のいずれに当てはまるかを検討してみよう (第 4 図)。二枚橋 (1) 遺跡 85 号土坑からは領域 Se に収まる細形管玉が出土しているが、瀬野遺跡 (伊東・須藤 1982) からは二枚橋式新段階 (根岸の「二枚橋 II 式」) の太形管玉が出土している。坊主沢遺跡の細形管玉は宇鉄 II 式期であり、薬師遺跡 (神ほか 2014) 出土資料はいわゆる五所式期よりも新しく位置づけられる太形管玉である。火行塚遺跡 (遠藤ほか 1981) 出土資料は遺構外出土であるが、出土土器が谷起島式よりも一段階新しく位置付けられるため本段階とした。またアヨロ遺跡 26 号墓 (岡田・高橋 1980)、南有珠 7 遺跡 GP-5 (峰山編 1984) の出土資料については、恵山式土器の最古段階に位置付けた大坂 (2006) の編年観に従って本段階に含めた。

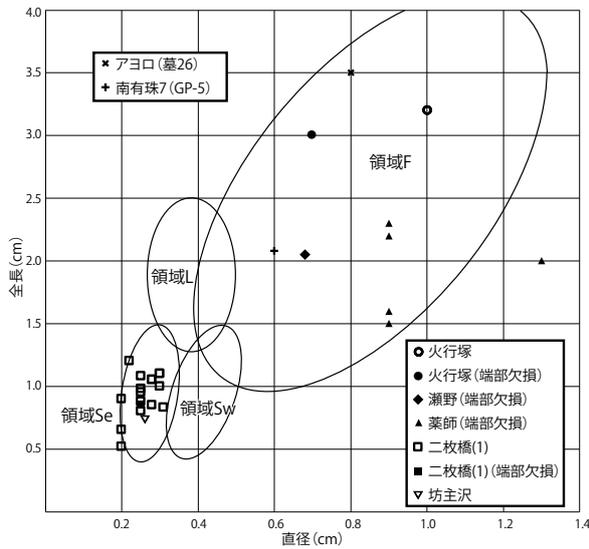
二枚橋 (1)・坊主沢両遺跡の事例を除き、他の資料は「領域 F」に該当する太形管玉である。太形管玉は弥生 I 期 (砂沢式期) の是川中居遺跡・砂沢遺跡などから見られ、東北地方の特徴と考えられる (根岸・大上 2021)。これに対して弥生 II 期の初めから登場するのが「領域 Se」の細形管玉であり、現在のところ時期差と考えられる。

(2) 宇鉄遺跡 (弥生 III 期古)

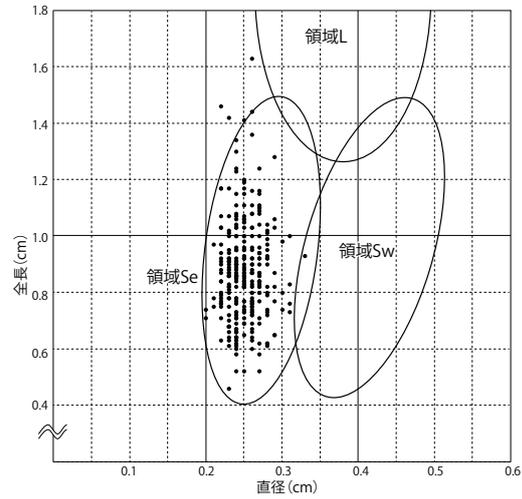
宇鉄遺跡出土の管玉の法量については、既に青森県立郷土館によりその概要が報告されていた (岩本ほか 1979、福田 1989) が、改めて各個体の法量を計測した。その結果を散布図 (第 5 図・第 6 図) および計測表 (第 1 表・第 2 表) に示したので、大賀克彦 (2001・2011) による「領域」のいずれに当てはまるかを検討する。

宇鉄遺跡 14 号土坑 (岩本ほか 1979) 出土の管玉は合計 353 点を計測し、欠損し全長を保っていない 53 点を除いた 300 点の法量分布を第 5 図に示した。直径の最小値は 0.20cm、最大値は 0.33cm、全長の最小値は 0.46cm、最大値は 1.63cm である。分布の中心は直径 0.22 ~ 0.28cm、全長 0.60 ~ 1.20cm にあると考えられる。

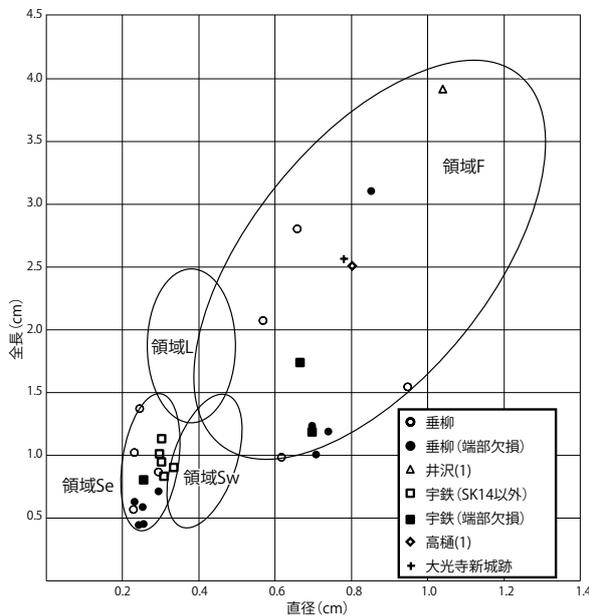
本遺構出土の管玉の多くは大賀分類によるところの「領域 S」(およそ直径 0.20~0.40cm、全長 1.50cm 以下) に相当する。大賀氏は領域 S について、西日本出土の管玉が集中する範囲を「領域 Sw」、東日本出土の管玉が集中する



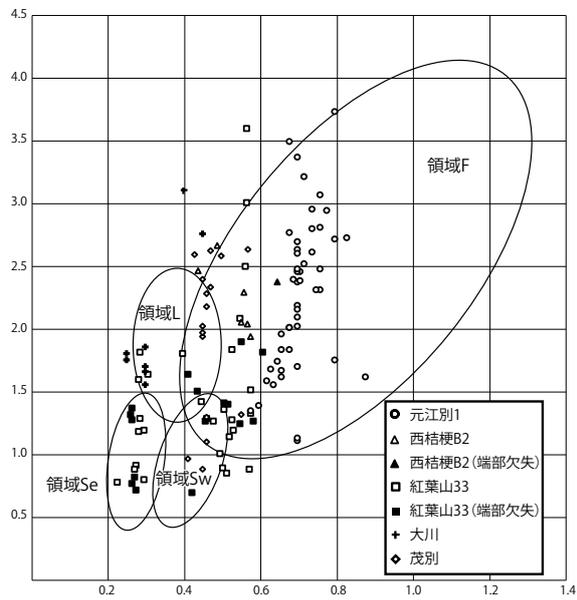
第4図 弥生Ⅱ期（中期前葉）の碧玉製管玉



第5図 宇鉄遺跡 14号土坑の碧玉製管玉



第6図 弥生Ⅲ期（中期中葉）の碧玉製管玉



第7図 弥生Ⅲ期併行の碧玉製管玉

範囲を「領域 Se」としている。直径の具体的な数値については言及されていないが、「領域 Se」は石材に関わらず直径 0.3cm 未満に収まるのに対し、「領域 Sw」は 0.3cm 未満から 0.5cm 以下までとその範囲は広がるのが特徴である。

もう一度本遺構出土の管玉の法量を見てみると、直径が比較的大きい直径 0.29cm の資料でも全長 1.28cm を示しており、直径 0.28cm 以下の管玉の全長と比べても短いとは言えない。それに対し、直径 0.3cm 以上の資料 8 点を見ても全長 1cm 以下となり、直径 0.29cm 以下と比べると全長が短くなる傾向を示している。さらには直径 0.3cm 未満の資料中においても、比較的全長が短い資料も一定数存在する。これら比較的大きく全長が短い資料群は、より「領域 Sw」に類似すると考えられる。また本遺構出土の管玉には、「領域 L」（直径 0.20 ～ 0.40cm、全長 1.50cm 以上）に類似する資料も 1 点だけだが存在する。しかしこれらはあくまで少数派であり、本遺構出土の碧玉製管玉の大多数は領域 Se に相当することが分かった。

次に他遺構の管玉の法量についても検討し、本遺構出土の資料と比べてみよう（第6図）。28号土坑（岩本ほか 1979）から出土した4点の碧玉製管玉については、3点が直径 0.30cm を超えており、1点が直径 0.26cm で全長 0.80 ～ 1.00cm を測る。「領域 Se」に相当する資料が3点、「領域 Se」、「領域 Sw」が重複する箇所にも1点となる。1号墓（福田 1989）からは2点出土しており、直径 0.31cm および 0.34cm でやや太形である。2号墓（福田前掲）から碧玉製管玉が2点出土しており、どちらも欠損しているが太形で「領域 F」（直径が 0.40cm 以上、全長 1.00cm 以上）に分類される。第3図7は欠損が一部に留まり直径 0.63cm、全長 1.75cm を測る。もう1点（第3図6）は直径 0.70cm、残存長 1.20cm で「領域 F」に相当する。

14号土坑とその他の遺構から出土した管玉の法量を比較すると、前者の方が小さな直径を持つ傾向にあると言える。また前者が「領域 Se」にまとまる傾向にあるが、後者は太形管玉も含みバラつきがみられる。以上の検討から、宇鉄遺跡 14号土坑出土の碧玉製管玉についてその出土点数のみならず、法量でも特異な傾向を示すことが判明した。本遺跡 14号土坑出土の碧玉製管玉 8点を対象とした蛍光 X線による原産地推定（藁科・福田 1997）では、5点が佐渡猿八産と推定されている。

（3）青森県内の弥生Ⅲ期

宇鉄遺跡以外の遺跡から出土した碧玉製管玉についても、直径と全長の散布図を作成した（第6図）。青森県田舎館村の垂柳遺跡（葛西・高橋 1982・1989、武田 2009）および高樋（1）遺跡（村越 1987）、平川市の井沢（1）遺跡（葛西ほか 1976）および大光寺新城跡（平賀町教育委員会 2001）は、いずれも津軽平野の狭い範囲内に分布しており（第1図）、中でも垂柳遺跡・高樋（1）遺跡には弥生Ⅲ期の水田遺構が検出されている。

これらの遺跡から出土した碧玉製管玉は、宇鉄遺跡と同じく、「領域 Se」の細形と、「領域 F」の太形に分かれる傾向が見て取れる（第6図）。この分布は弥生Ⅱ期（中期前葉）とも共通しており、東北北部の弥生中期に用いられた碧玉製管玉には共通した傾向があったと言えそうである。東北中南部では「領域 Sw」や「領域 L」にプロットされる資料が含まれること（根岸・大上 2021）を考慮すると、東北北部に運び込まれた碧玉製管玉については、ある程度産地が限られていた可能性が示唆される。ただし垂柳遺跡出土の細形管玉 1点が佐渡猿八産と推定されている（藁科・福田 1997）ものの、太形管玉の産地推定は行われていない。

（4）恵山式文化圏内の碧玉製管玉

青野（1999）および大坂（2006）に従い、弥生Ⅲ期併行の恵山式土器に伴う碧玉製管玉についても検討する。北海道江別市の元江別 1遺跡（高橋ほか 1981）、石狩市の紅葉山 33号遺跡（石橋・清水 1984）、余市町大川遺跡（藁科・東村 1995）、函館市の西桔梗 B2遺跡（寺村 1974）、および北斗市茂別遺跡（佐藤ほか 1998）である。これらの遺跡は石狩低地帯、余市川河口域に加え、渡島半島南部に所在する（第1図）。続縄文文化に属する恵山式の側から見れば、本州の日本海側で生産されたと考えられる碧玉製管玉は弥生文化からもたらされる交易物資に他ならない。大坂（2006）は、氏の設定した「恵山 I b1 式」（田舎館式と併行）期に碧玉製管玉の大半が帰属することを指摘し、地域間関係の強まりを想定している。従来の研究では、宇鉄遺跡 14号土坑出土の管玉も同じ文脈で評価されることが多かった。大賀の領域分類に従って、これら北海道南部の碧玉製管玉も検討してみよう（第7図）。

分析対象とした 123 個体のうち、実に 101 個体（約 82%）が直径 0.4cm 以上にプロットされることが注目される。その多くが「領域 F」内に含まれるが、大賀によって設定された領域から外れる大きさの管玉が全ての遺跡から出土している。全体的に見て、太さ・直径共に大きな管玉が流通している点は、寺村（1974）・大賀（2001）が指摘しているとおりでである。このような太形管玉は東北北部にも分布しており、両地域の共通点はこのサイズの管玉に求められると言える。ただし、東北北部ではほぼ見られない直径 0.4～0.6cm の範囲内の太形管玉が、元江別 1遺跡および紅葉山 33遺跡に集中している点を指摘しておきたい。この法量は、大賀（2001・2010）による「領域 F'」¹⁾に相当し、同時期の福島県域出土資料に類似する（根岸・大上 2021）。

「領域 F」の太形管玉に加えて、資料数が限られるものの細形管玉も見つかっている。「領域 Se」にプロットされる碧玉製管玉は紅葉山 33号遺跡でのみ出土しており、これらの中には端部が欠損するものも含まれ、完形品であれば「領域 L」に含まれるものであった可能性が高い。宇鉄遺跡を代表例として、東北北部の大部分を占めた「領域 Se」の碧玉製管玉が、北海道南部では 1遺跡のみに限られる点に注意しておきたい。このほか「領域 L」や「領域 Sw」に分類される管玉も見つかっている。これらの領域に含まれる管玉が東北北部になく、東北南部に見られる（根岸・大上 2021）ことから、生産地や流通網を反映している可能性がある。ちなみに大川遺跡出土の「領域 L」やそれよりも全長が長い碧玉製管玉に関しては、その多くが佐渡猿八産との推定結果がある（藁科・東村 1995）。

4. 碧玉製管玉の流通に関する予察

本論では宇鉄遺跡出土の碧玉製管玉の法量を改めて報告し、東北北部および北海道南部から出土した碧玉製管玉と比較した上で、その考古学的特徴を把握する作業を行った。その結果、本遺跡 14号土坑から出土した管玉の大部分が、直径 0.3cm 以下の細形管玉であることを明らかにした。寺村（1974）や大賀（2011）が推論したように、東北北部から北海道南部にかけての地域ではまず太形（大賀による「領域 F」）を志向する段階があり、その後に細形（「領域 Se」）を志向する段階が来ると想定されていた。宇鉄遺跡の 14号土坑出土の碧玉製管玉は後者の典型例と言え、宇鉄Ⅱ式土器（岩本ほか 1979・須藤 1983）よりも一段階新しい、弥生Ⅲ期の古段階（田舎館式期）に該当する。ただ

し細形管玉については二枚橋(1)遺跡の事例から、弥生Ⅱ期の初め(二枚橋式最古段階)に出現すると考えられる。太形管玉は宇鉄遺跡の別遺構から見つかっているため、東北北部においては碧玉製管玉の太形・細形の明確なサイズの差が、弥生中期前葉から中葉まで続いたことが分かる。

以下、宇鉄遺跡出土の碧玉製管玉を切り口に、東北地方への流通について若干の考察を試みる。

まず弥生Ⅱ期(中期前葉)の特に古い段階については、先行研究(大賀2011)では想定されていなかったことを改めて指摘したい。つまり二枚橋(1)遺跡の調査成果によって、太形管玉しか想定されていなかった時期に細形管玉が既に存在していたことが判明したのである。当該期の細形管玉は東北中南部でもほとんど見つかっていないため、弥生Ⅱ期は太形管玉が主に流通していたと時期と言えそうである。当該期に想定される生産地は「半島系」もしくは「山陰系」であるものの、二枚橋(1)遺跡出土管玉の産地推定分析が行われていないために、製品の流通に関してはこれ以上の考察ができない。

さらに付言すれば、是川中居遺跡に限らず、東北地方のいくつかの遺跡で弥生Ⅰ期、あるいはそれ以前に遡る太形管玉が報じられている(根岸・大上2021)。是川中居遺跡の太形管玉は肉眼観察によって「女代南B群」と推定されている(大賀2010)ものの確証が得られていない。これら弥生Ⅱ期以前の碧玉製管玉については、今後玉造遺跡と碧玉原石による産地同定に基づいた研究が必要である。

次に弥生Ⅲ期の管玉を多量に副葬する葬法についてである。宇鉄遺跡14号土坑のように、一遺構内から直径0.3cm以下の細形管玉を複数出土する事例として、紅葉山33号遺跡(石橋・清水1984)と大川遺跡(藁科・東村1995)があげられる。紅葉山33号遺跡GP-26からは碧玉製管玉が16点出土しており、直径0.23~0.31cm、全長0.74~1.795cmである。大川遺跡GP-123では碧玉製管玉が8点出土しており、直径0.25~0.45cm、全長1.55~3.10cmとなり、このうち直径0.3cm以下となるのは6点である。これら細形管玉が卓越する3つの遺構では葬法も類似している。宇鉄遺跡14号土坑では管玉の集中範囲とは反対の東側に礫が置かれ(第2図B)、大川遺跡GP-123では管玉が集中する範囲に壺形土器が置かれる。管玉が集中する側が頭部であると想定すると、前者は脚部に礫を、後者は頭部に土器を設置することになり、それぞれ「南川型葬法」に類似した様相を呈する。紅葉山33号遺跡GP-26は、頭部に土器、脚部に礫を配しており、同遺跡内で唯一「南川型葬法」が確認された遺構であると報告されている。これら3つの遺構は、壙底部に赤色顔料が撒かれる点も共通する。このように頭部に土器、あるいは脚部に礫を配し、赤色顔料を壙底部に撒くという葬法と、直径0.3cm以下の細形管玉には何らかの関係性があると考えられる。

3遺跡の事例から、管玉の法量によって被葬者の差異化がはかられたとみる解釈を提示したい。弥生Ⅲ期は、北海道南部から東北南部にかけて碧玉・鉄石英製管玉の流通が最も活発になる時期である(大上2021)。それゆえ、特に恵山式文化圏では管玉着装者も増え、単に弥生系の管玉を着装するだけでは副葬品として不十分になったのではないだろうか。今回、北海道南部と東北北部で法量的志向性が異なることが明らかとなったが、蛍光X線による産地推定を踏まえると、その要因を生産地の違いのみに求めるのは難しい。今後、碧玉製管玉の法量的志向性の違いの背景として、製品が流通する受け手側の事情も考慮する必要がある。

謝辞

本論を草するにあたって、青森県立郷土館および杉野森淳子氏にご協力を賜った。また第1図のうち本州地図は、根岸が小林圭一氏からご恵与いただいたデジタルデータを活用した。感謝申し上げたい。本研究は科学研究費補助金基盤研究A(研究代表者:海部陽介東大教授、課題番号18H03596)の分担研究(津軽海峡班)の成果の一部である。

註

1) 大賀氏が設定した「領域F'」は、「領域F」のうち西日本出土管玉の方がより小さい法量であることを踏まえ、おおそ直径0.40~0.60cm、全長1.20~2.00cmの範囲を特に区別したものである。しかし2010年の論文ではこの領域が全長1.5~2.5cmとなっており、明確に定義されたものではないと考えられるため、本稿で示した散布図には反映させていない。

図版典拠

第1図 筆者作成。

第2図 浅田ほか(2017)、根岸(2020)および岩本ほか(1979)より作成。

第3図 福田(1989)より作成。

第4図 根岸(2020)に岡田・高橋(1980)、峰山編(1984)および遠藤ほか(1981)を追加して作成。

第5図 筆者作成。

第6図 葛西・高橋(1982・1989)、武田(2009)、葛西ほか(1976)、岩本ほか(1979)、福田(1989)、田舎館村教育委員会(1987)及び平賀町教育委員会(2001)より作成。

第7図 高橋ほか(1981)、寺村(1974)、石橋・清水(1984)、藁科・東村(1995)及び佐藤ほか(1998)より作成。
元江別1遺跡は墓19・48・56、西桔梗B2遺跡は土坑墓、紅葉山33号遺跡はGP-1・26・52、大川遺跡はGP-123、
茂別遺跡はP-61・77・101およびX-21出土の碧玉製管玉を計測。

引用文献

- 青野友哉 1999 「碧玉製管玉と琥珀製玉類からみた続縄文文化の特質」『北海道考古学』第35輯，69-82頁，北海道考古学会
- 浅田智晴・佐藤智生・根岸洋 2017 『二枚橋(1)遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第581集，青森県教育委員会
- 石橋孝夫・清水雅男 1984 『紅葉山33号遺跡-紅葉山砂丘における続縄文時代前半期の墓地発掘の記録-』石狩町教育委員会
- 伊東信雄・須藤隆 1982 『瀬野遺跡-青森県下北郡脇野沢村瀬野遺跡の研究-』東北考古学会
- 田舎館村教育委員会 1987 『垂柳遺跡-高樋I遺跡発掘調査・プラント・オパールによる範囲確認調査-』昭和61年度垂柳遺跡緊急調査報告書(第一年次)
- 岩本義雄・天間勝也・三宅徹也 1979 『宇鉄II遺跡発掘調査報告書』青森県立郷土館調査報告第6集(考古-3)，青森県立郷土館
- 遠藤勝博・高橋義介・宮康夫 1981 『二戸市上田面遺跡・大淵遺跡・火行塚遺跡』岩手県埋文センター文化財調査報告書第23集，(財)岩手県埋蔵文化財センター
- 大賀克彦 2001 「弥生時代における管玉の流通」『考古学雑誌』第86巻4号，321-362頁，日本考古学会
- 大賀克彦 2010 「女代南B群碧玉製管玉に関する認識」『中原遺跡IV』佐賀県文化財調査報告書第182集，280-293頁，佐賀県教育委員会
- 大賀克彦 2011 「弥生時代における玉類の生産と流通」『講座日本の考古学5 弥生時代(上)』，707-730頁，青木書店
- 大上立朗 2021 「弥生時代併行期の北日本における碧玉・鉄石英製管玉の流通」『秋田県埋蔵文化財センター研究紀要』第35号，31-47頁，秋田県埋蔵文化財センター(印刷中)
- 大坂拓 2006 「続縄文社会と東北弥生社会の相互交渉-恵山式土器の再検討を軸に-」『考古学研究会第12回東京例会』
- 大坂拓 2010 「田舎館式土器の再検討-津軽平野南部における弥生時代中期土器型式の変遷と型式交渉-」『考古学集刊』第6号，39-67頁，明治大学文学部考古学研究室
- 岡田宏明・高橋正勝 1980 『アヨロ遺跡-続縄文(恵山式土器)文化の墓と住居址-』北海道先史学協会
- 加藤邦雄・田部淳・上野秀一・羽賀憲二ほか 1983 『瀬棚南川遺跡』瀬棚町教育委員会
- 葛西励・高橋潤 1982 『垂柳遺跡(遺跡確認調査報告書)』田舎館村郷土誌研究会
- 葛西励・高橋潤 1989 『垂柳遺跡(垂柳遺跡範囲確認調査)』昭和63年度垂柳遺跡緊急調査報告書(第三年次)，田舎館村教育委員会
- 葛西励・高橋潤・藤田亮一 1976 『平賀町井沢遺跡発掘調査報告書』平賀町教育委員会
- 葛西励・相馬俊也・山口義信・高橋潤・児玉大成・齋藤淳 2003 『坊主沢遺跡発掘調査報告書』小泊村文化財調査報告第3集，小泊村教育委員会
- 佐藤和雄・工藤研治・広田良成・立田理 1998 『上磯町茂別遺跡-一般国道228号線茂辺地防災工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書-』財団法人北海道埋蔵文化財センター調査報告書第121集，財団法人北海道埋蔵文化財センター
- 神康夫・工藤忍・高橋哲 2014 『上新岡館・薬師遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第545集，青森県教育委員会
- 須藤隆 1983 「弥生文化の伝播と恵山文化の成立」『考古学論叢』I，309-360頁，芹沢長介先生還暦記念論文集刊行会
- 高橋正勝・直井孝一・園部真幸・佐藤訓敏・野中一宏・北沢実・高橋豊彦 1981 『元江別遺跡群-道々江別インター線・角山弥生線道路建設改修工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-』江別市文化財調査報告書第13集，江別市教育委員会
- 武田嘉彦 2009 『史跡垂柳遺跡発掘調査報告書』田舎館村埋蔵文化財調査報告書第16集，田舎館村教育委員会
- 寺村光晴 1974 「西桔梗B2遺跡の管玉-弥生時代文物の東北進と管玉の問題-」『西桔梗-函館圏流通センター建設用地内遺跡調査報告書-』，頁436-459，函館圏開発事業団
- 根岸洋 2020 『東北地方北部における縄文/弥生移行期論』雄山閣
- 根岸洋・大上立朗 2021 「東北地方における弥生前期・中期の碧玉製管玉」『靱』第11号，弥生時代研究会(印刷中)
- 平賀町教育委員会 2001 『大光寺新城跡遺跡発掘調査報告書』平賀町埋蔵文化財報告書第29集
- 福田友之 1989 『三厩村宇鉄遺跡発掘調査報告書(II)-弥生甕棺墓の第4次調査-』青森県立郷土館調査報告第25集(考古-8)，青森県立郷土館
- 峰山巖(編) 1984 『伊達市南有珠7遺跡発掘調査報告-噴火湾東部沿岸における続縄文・擦文期の貝塚-』伊達市教育委員会

村木淳・小久保拓也 2004 『是川中居遺跡中居地区 G・L・M』 八戸市遺跡調査会埋蔵文化財調査報告書第5集, 八戸遺跡調査会

藁科哲男・東村武信 1995 「大川遺跡出土の管玉の産地分析」『1994年度大川遺跡発掘調査概報-余市川改修事業に伴う埋蔵文化財発掘調査の概要VI-』, 26-37頁, 余市町教育委員会

藁科哲男・福田友之 1997 「青森県宇鉄・砂沢・垂柳遺跡出土の碧玉製管玉・玉材の産地分析」『青森県立郷土館調査研究年報』第21号, 83-92頁, 青森県立郷土館

第1表 宇鉄遺跡出土の碧玉製管玉の計測値(1)

管玉番号	出土遺構	直径 (cm)	孔径 (cm)	重量 (g)	全長 (cm)	色調	展示形態	備考
1	14号土坑	0.23	未計測	未計測	(0.64)	4G4/3.5	常設展示、テグス	欠損の可能性あり
2	14号土坑	0.26	未計測	未計測	0.74	4G4/3.5	常設展示、テグス	
3	14号土坑	0.23	未計測	未計測	0.72	4G5/4	常設展示、テグス	
4	14号土坑	0.24	未計測	未計測	0.77	4G4/3.5	常設展示、テグス	
5	14号土坑	0.27	未計測	未計測	0.71	7.5GY5/4	常設展示、テグス	
6	14号土坑	0.23	未計測	未計測	(0.80)	4G4/3.5	常設展示、テグス	欠損
7	14号土坑	0.24	未計測	未計測	0.52	2.5BG2.5/2.5	常設展示、テグス	
8	14号土坑	0.24	未計測	未計測	(0.55)	4G4/3.5	常設展示、テグス	欠損
9	14号土坑	0.26	未計測	未計測	(0.60)	2GY7.5/4	常設展示、テグス	欠損
10	14号土坑	0.26	未計測	未計測	0.76	4G5/4	常設展示、テグス	
11	14号土坑	0.24	未計測	未計測	0.85	2.5BG2.5/2.5	常設展示、テグス	
12	14号土坑	0.22	未計測	未計測	0.76	4G4/3.5	常設展示、テグス	
13	14号土坑	0.21	未計測	未計測	(0.54)	7.5GY5/4	常設展示、テグス	欠損
14	14号土坑	0.22	未計測	未計測	0.63	4G5/4	常設展示、テグス	
15	14号土坑	0.22	未計測	未計測	0.80	4G5/4	常設展示、テグス	
16	14号土坑	0.26	未計測	未計測	0.90	5G2.5/3	常設展示、テグス	
17	14号土坑	0.24	未計測	未計測	0.76	7.5GY5/4	常設展示、テグス	
18	14号土坑	0.24	未計測	未計測	0.58	4G4/3.5	常設展示、テグス	
19	14号土坑	0.24	未計測	未計測	0.90	4G5/4	常設展示、テグス	
20	14号土坑	0.25	未計測	未計測	1.19	1GY4.5/3.5	常設展示、テグス	
21	14号土坑	0.24	未計測	未計測	0.61	2.5BG6.5/4	常設展示、テグス	
22	14号土坑	0.22	未計測	未計測	0.92	4G4/3.5	常設展示、テグス	
23	14号土坑	0.22	未計測	未計測	0.75	4G4/3.5	常設展示、テグス	
24	14号土坑	0.22	未計測	未計測	(0.51)	4G5/4	常設展示、テグス	欠損
25	14号土坑	0.24	未計測	未計測	0.91	1GY4.5/3.5	常設展示、テグス	
26	14号土坑	0.26	未計測	未計測	(0.51)	4G4/3.5	常設展示、テグス	欠損
27	14号土坑	0.23	未計測	未計測	0.64	4G5/4	常設展示、テグス	
28	14号土坑	0.23	未計測	未計測	0.61	4G5/4	常設展示、テグス	
29	14号土坑	0.24	未計測	未計測	(0.61)	4G4/3.5	常設展示、テグス	欠損
30	14号土坑	0.24	未計測	未計測	0.86	4G5/4	常設展示、テグス	
31	14号土坑	0.23	未計測	未計測	0.83	4G5/4	常設展示、テグス	
32	14号土坑	0.24	未計測	未計測	(0.54)	2.5BG6.5/4	常設展示、テグス	欠損
33	14号土坑	0.25	未計測	未計測	0.90	10BG5.5/3	常設展示、テグス	
34	14号土坑	0.24	未計測	未計測	1.34	5G3/7	常設展示、テグス	
35	14号土坑	0.24	未計測	未計測	0.64	4G4/3.5	常設展示、テグス	
36	14号土坑	0.25	未計測	未計測	0.86	7.5GY5/4	常設展示、テグス	
37	14号土坑	0.24	未計測	未計測	0.71	4G5/4	常設展示、テグス	
38	14号土坑	0.24	未計測	未計測	(0.97)	7.5GY5/4	常設展示、テグス	欠損
39	14号土坑	0.27	未計測	未計測	0.80	5G2.5/3	常設展示、テグス	
40	14号土坑	0.24	未計測	未計測	1.00	5G2.5/3	常設展示、テグス	
41	14号土坑	0.26	未計測	未計測	(0.60)	4G4/3.5	常設展示、テグス	欠損
42	14号土坑	0.28	未計測	未計測	0.82	4G5/4	常設展示、テグス	
43	14号土坑	0.26	未計測	未計測	1.11	10BG5.5/3	常設展示、テグス	
44	14号土坑	0.24	未計測	未計測	1.11	4G4/3.5	常設展示、テグス	
45	14号土坑	0.24	未計測	未計測	0.89	2GY7.5/4	常設展示、テグス	
46	14号土坑	0.22	未計測	未計測	1.17	7.5GY5/4	常設展示、テグス	
47	14号土坑	0.27	未計測	未計測	0.87	7.5GY5/4	常設展示、テグス	
48	14号土坑	0.24	未計測	未計測	0.69	5G2.5/3	常設展示、テグス	
49	14号土坑	0.24	未計測	未計測	0.73	5G2.5/3	常設展示、テグス	
50	14号土坑	0.26	未計測	未計測	0.90	7.5GY5/4	常設展示、テグス	
51	14号土坑	0.24	未計測	未計測	0.82	5G2.5/3	常設展示、テグス	
52	14号土坑	0.24	未計測	未計測	1.06	7.5GY5/4	常設展示、テグス	
53	14号土坑	0.22	未計測	未計測	0.84	10BG5.5/3	常設展示、テグス	
54	14号土坑	0.28	未計測	未計測	(0.61)	4G4/3.5	常設展示、テグス	欠損
55	14号土坑	0.24	未計測	未計測	(0.62)	10G2.5/5	常設展示、テグス	欠損
56	14号土坑	0.24	未計測	未計測	0.88	10G2.5/5	常設展示、テグス	
57	14号土坑	0.24	未計測	未計測	0.66	10G2.5/5	常設展示、テグス	
58	14号土坑	0.27	未計測	未計測	0.84	2.5BG2.5/2.5	常設展示、テグス	
59	14号土坑	0.22	未計測	未計測	0.80	2.5BG2.5/2.5	常設展示、テグス	
60	14号土坑	0.23	未計測	未計測	0.94	2GY7.5/4	常設展示、テグス	
61	14号土坑	0.24	未計測	未計測	0.90	4G5/4	常設展示、テグス	
62	14号土坑	0.24	未計測	未計測	0.90	4G5/4	常設展示、テグス	
63	14号土坑	0.24	未計測	未計測	(0.58)	4G5/4	常設展示、テグス	欠損
64	14号土坑	0.28	未計測	未計測	(0.53)	4G4/3.5	常設展示、テグス	欠損
65	14号土坑	0.29	未計測	未計測	0.65	4G4/3.5	常設展示、テグス	
66	14号土坑	0.22	未計測	未計測	0.78	10BG5.5/3	常設展示、テグス	
67	14号土坑	0.22	未計測	未計測	1.03	10BG5.5/3	常設展示、テグス	
68	14号土坑	0.26	未計測	未計測	0.78	5G3/7	常設展示、テグス	
69	14号土坑	0.26	未計測	未計測	0.67	5.5G3/5	常設展示、テグス	
70	14号土坑	0.26	未計測	未計測	0.87	5.5G3/5	常設展示、テグス	
71	14号土坑	0.26	未計測	未計測	1.44	2GY7.5/4	常設展示、テグス	
72	14号土坑	0.23	未計測	未計測	(1.01)	7.5GY5/4	常設展示、テグス	欠損
73	14号土坑	0.24	未計測	未計測	1.24	7.5GY5/4	常設展示、テグス	
74	14号土坑	0.23	未計測	未計測	0.82	2.5BG2.5/2.5	常設展示、テグス	
75	14号土坑	0.26	未計測	未計測	0.88	2.5BG2.5/2.5	常設展示、テグス	
76	14号土坑	0.23	未計測	未計測	0.86	7.5GY5/4	常設展示、テグス	
77	14号土坑	0.23	未計測	未計測	(0.82)	4G5/4	常設展示、テグス	欠損
78	14号土坑	0.28	未計測	未計測	1.02	4G4/3.5	常設展示、テグス	
79	14号土坑	0.23	未計測	未計測	0.82	7.5GY5/4	常設展示、テグス	
80	14号土坑	0.26	未計測	未計測	0.60	7.5GY5/4	常設展示、テグス	端部に長さ調整のための施溝痕あり
81	14号土坑	0.24	未計測	未計測	0.96	10BG5.5/3	常設展示、テグス	
82	14号土坑	0.27	未計測	未計測	0.69	5G2.5/3	常設展示、テグス	
83	14号土坑	0.28	未計測	未計測	0.95	2.5BG2.5/2.5	常設展示、テグス	

管玉番号	出土遺構	直径 (cm)	孔径 (cm)	重量 (g)	全長 (cm)	色調	展示形態	備考
84	14号土坑	0.28	未計測	未計測	0.93	2.5Y7.5/2	常設展示、テグス	
85	14号土坑	0.27	未計測	未計測	0.80	5G2.5/3	常設展示、テグス	
86	14号土坑	0.28	未計測	未計測	0.80	5G2.5/3	常設展示、テグス	
87	14号土坑	0.28	未計測	未計測	0.61	7.5G4.5/5	常設展示、テグス	
88	14号土坑	0.28	未計測	未計測	0.79	5G3/7	常設展示、テグス	
89	14号土坑	0.26	未計測	未計測	0.76	7.5G15/4	常設展示、テグス	
90	14号土坑	0.26	未計測	未計測	0.96	4G5/4	常設展示、テグス	
91	14号土坑	0.30	未計測	未計測	0.98	2.5BG2.5/2.5	常設展示、テグス	端部に長さ調整のための施溝痕あり
92	14号土坑	0.27	未計測	未計測	1.04	7.5G15/4	常設展示、テグス	
93	14号土坑	0.30	未計測	未計測	0.74	2.5BG2.5/2.5	常設展示、テグス	
94	14号土坑	0.24	未計測	未計測	1.03	7.5G15/4	常設展示、テグス	
95	14号土坑	0.24	未計測	未計測	0.64	4G4/3.5	常設展示、テグス	
96	14号土坑	0.23	未計測	未計測	0.86	7.5G15/4	常設展示、テグス	
97	14号土坑	0.25	未計測	未計測	0.92	1.5B6/3	常設展示、テグス	
98	14号土坑	0.27	未計測	未計測	1.16	7.5G15/4	常設展示、テグス	
99	14号土坑	0.25	未計測	未計測	0.95	4G4/3.5	常設展示、テグス	
100	14号土坑	0.26	未計測	未計測	0.73	10G2.5/5	常設展示、テグス	
101	14号土坑	0.25	未計測	未計測	0.87	4G4/3.5	常設展示、テグス	
102	14号土坑	0.23	未計測	未計測	0.68	4G4/3.5	常設展示、テグス	端部に長さ調整のための施溝痕あり
103	14号土坑	0.25	未計測	未計測	0.84	7.5G15/4	常設展示、テグス	
104	14号土坑	0.26	未計測	未計測	1.63	5G3/7	常設展示、テグス	端部に長さ調整のための施溝痕の可能性あり。施溝分割後の研磨。
105	14号土坑	0.26	未計測	未計測	1.00	2.5BG2.5/2.5	常設展示、テグス	
106	14号土坑	0.26	未計測	未計測	0.82	1.5B6/3	常設展示、テグス	
107	14号土坑	0.25	未計測	未計測	(0.80)	4G4/3.5	常設展示、テグス	欠損
108	14号土坑	0.29	未計測	未計測	1.28	1G4.5/3.5	常設展示、テグス	
109	14号土坑	0.27	未計測	未計測	1.24	7.5G15/4	常設展示、テグス	
110	14号土坑	0.24	未計測	未計測	0.85	4G4/3.5	常設展示、テグス	
111	14号土坑	0.28	未計測	未計測	0.92	4G4/3.5	常設展示、テグス	
112	14号土坑	0.25	未計測	未計測	0.98	4G4/3.5	常設展示、テグス	
113	14号土坑	0.25	未計測	未計測	0.82	2G17.5/4	常設展示、テグス	
114	14号土坑	0.26	未計測	未計測	(0.62)	1G4.5/3.5	常設展示、テグス	欠損
115	14号土坑	0.23	未計測	未計測	0.75	4G4/3.5	常設展示、テグス	
116	14号土坑	0.24	未計測	未計測	0.90	4G5/4	常設展示、テグス	
117	14号土坑	0.23	未計測	未計測	0.86	2.5G8.5/2.5	常設展示、テグス	
118	14号土坑	0.23	未計測	未計測	1.01	7.5G15/4	常設展示、テグス	
119	14号土坑	0.22	未計測	未計測	1.17	7.5G15/4	常設展示、テグス	
120	14号土坑	0.21	未計測	未計測	0.97	2.5G7.5/8	常設展示、テグス	
121	14号土坑	0.25	未計測	未計測	(0.67)	4G4/3.5	常設展示、テグス	欠損
122	14号土坑	0.23	未計測	未計測	0.70	未調査	常設展示、テグス	
123	14号土坑	0.25	未計測	未計測	(0.44)	未調査	常設展示、テグス	欠損
124	14号土坑	0.24	未計測	未計測	1.07	未調査	常設展示、テグス	
125	14号土坑	0.26	未計測	未計測	1.08	未調査	常設展示、テグス	端部に長さ調整のための施溝痕の可能性あり。施溝分割後の研磨。
126	14号土坑	0.30	未計測	未計測	0.80	未調査	常設展示、テグス	
127	14号土坑	0.26	未計測	未計測	(0.67)	未調査	常設展示、テグス	欠損
128	14号土坑	0.25	未計測	未計測	0.83	未調査	常設展示、テグス	
129	14号土坑	0.28	未計測	未計測	0.72	未調査	常設展示、テグス	
130	14号土坑	0.26	未計測	未計測	0.64	未調査	常設展示、テグス	
131	14号土坑	0.25	未計測	未計測	0.74	未調査	常設展示、テグス	
132	14号土坑	0.25	未計測	未計測	0.52	未調査	常設展示、テグス	
133	14号土坑	0.33	未計測	未計測	0.93	未調査	常設展示、テグス	
134	14号土坑	0.23	未計測	未計測	0.78	未調査	常設展示、テグス	
135	14号土坑	0.28	未計測	未計測	1.04	未調査	常設展示、テグス	端部に長さ調整のための施溝痕あり
136	14号土坑	0.29	未計測	未計測	(0.63)	未調査	常設展示、テグス	
137	14号土坑	0.25	未計測	未計測	1.15	未調査	常設展示、テグス	
138	14号土坑	0.27	未計測	未計測	1.11	未調査	常設展示、テグス	
139	14号土坑	0.31	未計測	未計測	0.83	未調査	常設展示、テグス	
140	14号土坑	0.25	未計測	未計測	(0.39)	未調査	常設展示、テグス	欠損
141	14号土坑	0.27	未計測	未計測	0.86	未調査	常設展示、テグス	
142	14号土坑	0.25	未計測	未計測	0.69	未調査	常設展示、テグス	
143	14号土坑	0.31	未計測	未計測	0.73	未調査	常設展示、テグス	
144	14号土坑	0.25	未計測	未計測	0.93	未調査	常設展示、テグス	
145	14号土坑	0.27	未計測	未計測	0.83	未調査	常設展示、テグス	端部に長さ調整のための施溝痕あり
146	14号土坑	0.22	未計測	未計測	0.90	未調査	常設展示、テグス	端部に長さ調整のための施溝痕あり
147	14号土坑	0.25	未計測	未計測	1.20	未調査	常設展示、テグス	
148	14号土坑	0.25	未計測	未計測	0.77	未調査	常設展示、テグス	
149	14号土坑	0.26	未計測	未計測	0.66	未調査	常設展示、テグス	
150	14号土坑	0.24	未計測	未計測	(0.93)	未調査	常設展示、テグス	欠損
151	14号土坑	0.23	未計測	未計測	0.87	未調査	常設展示、テグス	
152	14号土坑	0.24	未計測	未計測	0.73	未調査	常設展示、テグス	
153	14号土坑	0.21	未計測	未計測	0.75	未調査	常設展示、テグス	
154	14号土坑	0.27	未計測	未計測	0.96	未調査	常設展示、テグス	
155	14号土坑	0.25	未計測	未計測	1.00	未調査	常設展示、テグス	
156	14号土坑	0.23	未計測	未計測	1.02	未調査	常設展示、テグス	
157	14号土坑	0.27	未計測	未計測	1.09	未調査	常設展示、テグス	
158	14号土坑	0.27	未計測	未計測	1.00	未調査	常設展示、テグス	
159	14号土坑	0.27	未計測	未計測	0.84	未調査	常設展示、テグス	
160	14号土坑	0.29	未計測	未計測	0.77	未調査	常設展示、テグス	
161	14号土坑	0.27	未計測	未計測	0.86	未調査	常設展示、テグス	
162	14号土坑	0.25	未計測	未計測	1.07	未調査	常設展示、テグス	
163	14号土坑	0.25	未計測	未計測	1.11	未調査	常設展示、テグス	端部に長さ調整のための施溝痕の可能性あり。施溝分割後の研磨。
164	14号土坑	0.25	未計測	未計測	0.82	未調査	常設展示、テグス	
165	14号土坑	0.25	未計測	未計測	1.06	未調査	常設展示、テグス	
166	14号土坑	0.24	未計測	未計測	0.60	未調査	常設展示、テグス	
167	14号土坑	0.25	未計測	未計測	0.96	未調査	常設展示、テグス	
168	14号土坑	0.25	未計測	未計測	0.92	未調査	常設展示、テグス	
169	14号土坑	0.24	未計測	未計測	0.90	未調査	常設展示、テグス	
170	14号土坑	0.23	未計測	未計測	1.42	未調査	常設展示、テグス	
171	14号土坑	0.28	未計測	未計測	(0.88)	未調査	常設展示、テグス	欠損
172	14号土坑	0.24	未計測	未計測	0.95	未調査	常設展示、テグス	
173	14号土坑	0.24	未計測	未計測	0.67	未調査	常設展示、テグス	
174	14号土坑	0.26	未計測	未計測	0.95	未調査	常設展示、テグス	
175	14号土坑	0.27	未計測	未計測	0.92	未調査	常設展示、テグス	
176	14号土坑	0.26	未計測	未計測	0.77	未調査	常設展示、テグス	端部に長さ調整のための施溝痕あり
177	14号土坑	0.22	未計測	未計測	0.91	未調査	常設展示、テグス	
178	14号土坑	0.26	未計測	未計測	0.72	未調査	常設展示、テグス	
179	14号土坑	0.23	未計測	未計測	0.95	未調査	常設展示、テグス	
180	14号土坑	0.25	未計測	未計測	0.95	未調査	常設展示、テグス	
181	14号土坑	0.24	未計測	未計測	0.64	未調査	常設展示、テグス	
182	14号土坑	0.22	未計測	未計測	0.84	未調査	常設展示、テグス	
183	14号土坑	0.27	未計測	未計測	1.08	未調査	常設展示、テグス	
184	14号土坑	0.26	未計測	未計測	0.77	未調査	常設展示、テグス	
185	14号土坑	0.25	未計測	未計測	0.89	未調査	常設展示、テグス	

宇鉄遺跡出土の碧玉製管玉に関する基礎的研究

管玉番号	出土遺構	直径 (cm)	孔径 (cm)	重量 (g)	全長 (cm)	色調	展示形態	備考
186	14号土坑	0.24	未計測	未計測	0.92	未調査	常設展示、テグス	
187	14号土坑	0.26	未計測	未計測	(0.64)	未調査	常設展示、テグス	欠損
188	14号土坑	0.22	未計測	未計測	1.46	未調査	常設展示、テグス	
189	14号土坑	0.26	未計測	未計測	0.80	未調査	常設展示、テグス	
190	14号土坑	0.25	未計測	未計測	1.06	未調査	常設展示、テグス	
191	14号土坑	0.24	未計測	未計測	0.86	未調査	常設展示、テグス	
192	14号土坑	0.26	未計測	未計測	0.75	未調査	常設展示、テグス	
193	14号土坑	0.25	未計測	未計測	0.86	未調査	常設展示、テグス	
194	14号土坑	0.26	未計測	未計測	1.03	未調査	常設展示、テグス	
195	14号土坑	0.24	未計測	未計測	0.78	未調査	常設展示、テグス	
196	14号土坑	0.24	未計測	未計測	1.03	未調査	常設展示、テグス	
197	14号土坑	0.25	未計測	未計測	1.41	未調査	常設展示、テグス	
198	14号土坑	0.24	未計測	未計測	1.23	未調査	常設展示、テグス	
199	14号土坑	0.24	未計測	未計測	0.91	未調査	常設展示、テグス	
200	14号土坑	0.26	未計測	未計測	(0.91)	未調査	常設展示、テグス	欠損
201	14号土坑	0.26	未計測	未計測	1.36	7.5GY5/4	常設展示、テグス	端部に長さ調整のための施溝痕の可能性あり。施溝分割後の研磨。
202	14号土坑	0.26	未計測	未計測	0.77	7.5GY5/4	常設展示、テグス	
203	14号土坑	0.31	未計測	未計測	1.00	7.5GY5/4	常設展示、テグス	
204	14号土坑	0.23	未計測	未計測	(0.30)	4G4/3.5	常設展示、テグス	欠損
205	14号土坑	0.27	未計測	未計測	(0.71)	4G4/3.5	常設展示、テグス	欠損。やや汚い。
206	14号土坑	0.28	未計測	未計測	(0.69)	2.5BG2.5/2.5	常設展示、テグス	欠損
207	14号土坑	0.25	未計測	未計測	0.84	7.5GY5/4	常設展示、テグス	端部に長さ調整のための施溝痕の可能性あり。施溝分割後の研磨。
208	14号土坑	0.22	未計測	未計測	(0.72)	5G3/7	常設展示、テグス	欠損
209	14号土坑	0.28	未計測	未計測	0.62	5G3/7	常設展示、テグス	
210	14号土坑	0.26	未計測	未計測	0.87	4G4/3.5	常設展示、テグス	
211	14号土坑	0.28	未計測	未計測	0.62	5GY5/5	常設展示、テグス	
212	14号土坑	0.27	未計測	未計測	(0.69)	2.5Y7.5/2	常設展示、テグス	欠損。多量の夾雑物が入っている鉱物。
213	14号土坑	0.27	未計測	未計測	(0.67)	4G5/4	常設展示、テグス	欠損
214	14号土坑	0.27	未計測	未計測	0.82	5G3/7	常設展示、テグス	
215	14号土坑	0.29	未計測	未計測	1.06	7.5GY5/4	常設展示、テグス	
216	14号土坑	0.27	未計測	未計測	1.10	4G5/4	常設展示、テグス	
217	14号土坑	0.29	未計測	未計測	0.87	5G3.7	常設展示、テグス	
218	14号土坑	0.28	未計測	未計測	0.99	7.5GY5/4	常設展示、テグス	端部に長さ調整のための施溝痕あり
219	14号土坑	0.22	未計測	未計測	1.03	7.5GY5/4	常設展示、テグス	
220	14号土坑	0.26	未計測	未計測	0.69	5GY5/5	常設展示、テグス	
221	14号土坑	0.24	未計測	未計測	0.72	7.5GY5/4	常設展示、テグス	
222	14号土坑	0.23	未計測	未計測	0.68	5G3/7	常設展示、テグス	
223	14号土坑	0.24	未計測	未計測	0.67	7.5GY5/4	常設展示、テグス	
224	14号土坑	0.23	未計測	未計測	(0.44)	4G4/3.5	常設展示、テグス	欠損
225	14号土坑	0.26	未計測	未計測	0.75	5G3/7	常設展示、テグス	端部に長さ調整のための施溝痕の可能性あり。施溝分割後の研磨。
226	14号土坑	0.22	未計測	未計測	0.94	2.5BG2.5/2.5	常設展示、テグス	
227	14号土坑	0.26	未計測	未計測	0.83	7.5GY5/4	常設展示、テグス	
228	14号土坑	0.22	未計測	未計測	0.77	7.5GY5/4	常設展示、テグス	
229	14号土坑	0.27	未計測	未計測	0.52	5G3/7	常設展示、テグス	端部に長さ調整のための施溝痕あり
230	14号土坑	0.24	未計測	未計測	(0.71)	4G4/3.5	常設展示、テグス	欠損
231	14号土坑	0.25	未計測	未計測	0.77	4G5/4	常設展示、テグス	
232	14号土坑	0.29	未計測	未計測	1.03	5G3/7	常設展示、テグス	端部に長さ調整のための施溝痕の可能性あり。施溝分割後の研磨。
233	14号土坑	0.27	未計測	未計測	1.15	7.5GY5/4	常設展示、テグス	
234	14号土坑	0.22	未計測	未計測	0.76	5G3/7	常設展示、テグス	
235	14号土坑	0.27	未計測	未計測	0.94	4G4/3.5	常設展示、テグス	
236	14号土坑	0.23	未計測	未計測	0.92	5G3/7	常設展示、テグス	
237	14号土坑	0.25	未計測	未計測	0.65	4G4/3.5	常設展示、テグス	
238	14号土坑	0.23	未計測	未計測	0.91	7.5GY5/4	常設展示、テグス	
239	14号土坑	0.25	未計測	未計測	0.71	5G3/7	常設展示、テグス	
240	14号土坑	0.26	未計測	未計測	0.92	5.5G3/5	常設展示、テグス	
241	14号土坑	0.25	未計測	未計測	0.84	5.5G3/5	常設展示、テグス	
242	14号土坑	0.22	未計測	未計測	0.79	4G4/3.5	常設展示、テグス	
243	14号土坑	0.25	未計測	未計測	0.75	7.5GY5/4	常設展示、テグス	
244	14号土坑	0.20	未計測	未計測	(1.01)	5GY5/5	常設展示、テグス	
245	14号土坑	0.20	未計測	未計測	0.74	7.5GY5/4	常設展示、テグス	
246	14号土坑	0.23	未計測	未計測	0.63	4G4/3.5	常設展示、テグス	
247	14号土坑	0.28	未計測	未計測	0.97	4G4/3.5	常設展示、テグス	
248	14号土坑	0.24	未計測	未計測	0.66	7.5GY5/4	常設展示、テグス	
249	14号土坑	0.27	未計測	未計測	0.94	2.5BG2.5/2.5	常設展示、テグス	
250	14号土坑	0.24	未計測	未計測	0.95	4G4/3.5	常設展示、テグス	
251	14号土坑	0.26	未計測	未計測	0.63	4G4/3.5	常設展示、テグス	
252	14号土坑	0.23	未計測	未計測	0.66	4G4/3.5	常設展示、テグス	
253	14号土坑	0.24	未計測	未計測	0.86	5G3/7	常設展示、テグス	
254	14号土坑	0.24	未計測	未計測	1.15	7.5GY5/4	常設展示、テグス	
255	14号土坑	0.24	未計測	未計測	0.95	未調査	常設展示、テグス	
256	14号土坑	0.24	未計測	未計測	0.87	7.5GY5/4	常設展示、テグス	
257	14号土坑	0.25	未計測	未計測	(0.66)	5G2.5/3	常設展示、テグス	欠損
258	14号土坑	0.29	未計測	未計測	(0.72)	4G4/3.5	常設展示、テグス	欠損
259	14号土坑	0.24	未計測	未計測	0.63	7.5GY5/4	常設展示、テグス	
260	14号土坑	0.27	未計測	未計測	0.92	7.5GY5/4	常設展示、テグス	
261	14号土坑	0.26	未計測	未計測	(0.67)	7.5GY5/4	常設展示、テグス	欠損
262	14号土坑	0.26	未計測	未計測	1.03	5G6/7	常設展示、テグス	
263	14号土坑	0.24	未計測	未計測	0.64	4G5/4	常設展示、テグス	
264	14号土坑	0.23	未計測	未計測	0.68	4G4/3.5	常設展示、テグス	
265	14号土坑	0.25	未計測	未計測	(0.80)	7.5GY5/4	常設展示、テグス	欠損
266	14号土坑	0.25	未計測	未計測	1.05	2.5BG2.5/2.5	常設展示、テグス	
267	14号土坑	0.25	未計測	未計測	0.83	2.5BG2.5/2.5	常設展示、テグス	
268	14号土坑	0.25	未計測	未計測	0.88	7.5GY5/4	常設展示、テグス	
269	14号土坑	0.26	未計測	未計測	0.80	4G5/4	常設展示、テグス	
270	14号土坑	0.25	未計測	未計測	0.73	7.5GY5/4	常設展示、テグス	
271	14号土坑	0.24	未計測	未計測	0.62	7.5GY5/4	常設展示、テグス	
272	14号土坑	0.27	未計測	未計測	(0.70)	5G2.5/3	常設展示、テグス	欠損
273	14号土坑	0.24	未計測	未計測	(0.81)	4G4/3.5	常設展示、テグス	
274	14号土坑	0.23	未計測	未計測	0.89	7.5GY5/4	常設展示、テグス	
275	14号土坑	0.26	未計測	未計測	1.16	2.5BG2.5/2.5	常設展示、テグス	
276	14号土坑	0.24	未計測	未計測	1.04	7.5GY5/4	常設展示、テグス	
277	14号土坑	0.28	未計測	未計測	1.01	4G4/3.5	常設展示、テグス	
278	14号土坑	0.27	未計測	未計測	1.10	7.5GY5/4	常設展示、テグス	
279	14号土坑	0.23	未計測	未計測	0.91	5.5G3/5	常設展示、テグス	
280	14号土坑	0.24	未計測	未計測	1.00	5G2.5/3	常設展示、テグス	
281	14号土坑	0.26	未計測	未計測	0.92	2GY7.5/4	常設展示、テグス	
282	14号土坑	0.22	未計測	未計測	0.87	4G4/3.5	常設展示、テグス	
283	14号土坑	0.27	未計測	未計測	0.58	4G4/3.5	常設展示、テグス	
284	14号土坑	0.25	未計測	未計測	1.00	5G3/7	常設展示、テグス	
285	14号土坑	0.26	未計測	未計測	0.84	7.5GY5/4	常設展示、テグス	
286	14号土坑	0.26	未計測	未計測	(0.62)	5G2.5/3	常設展示、テグス	欠損
287	14号土坑	0.23	未計測	未計測	0.80	7.5GY5/4	常設展示、テグス	

管玉番号	出土遺構	直径 (cm)	孔径 (cm)	重量 (g)	全長 (cm)	色調	展示形態	備考
288	14号土坑	0.24	未計測	未計測	1.08	7.5GY5/4	常設展示、テグス	
289	14号土坑	0.28	未計測	未計測	0.73	5G2.5/3	常設展示、テグス	
290	14号土坑	0.27	未計測	未計測	0.62	5G2.5/3	常設展示、テグス	
291	14号土坑	0.25	未計測	未計測	1.17	4G4/3.5	常設展示、テグス	
292	14号土坑	0.22	未計測	未計測	0.71	4G4/3.5	常設展示、テグス	
293	14号土坑	0.23	未計測	未計測	(0.69)	4G4/3.5	常設展示、テグス	欠損
294	14号土坑	0.23	未計測	未計測	0.78	5G2.5/3	常設展示、テグス	
295	14号土坑	0.23	未計測	未計測	0.88	4G4/3.5	常設展示、テグス	
296	14号土坑	0.28	未計測	未計測	0.92	2.5BG2.5/2.5	常設展示、テグス	
297	14号土坑	0.26	未計測	未計測	(0.55)	2GY7.5/4	常設展示、テグス	欠損
298	14号土坑	0.25	未計測	未計測	0.87	7.5GY5/4	常設展示、テグス	
299	14号土坑	0.27	未計測	未計測	0.94	10G2.5/5	常設展示、テグス	
300	14号土坑	0.23	未計測	未計測	0.92	7.5GY5/4	常設展示、テグス	
301	14号土坑	0.23	未計測	未計測	(0.47)	4G5/4	常設展示、テグス	欠損
302	14号土坑	0.29	未計測	未計測	0.65	4G4/3.5	常設展示、テグス	
303	14号土坑	0.23	未計測	未計測	0.46	7.5G4.5/5	常設展示、テグス	
304	14号土坑	0.24	未計測	未計測	(0.84)	5G2.5/3	常設展示、テグス	欠損
305	14号土坑	0.23	未計測	未計測	1.17	7.5GY5/4	常設展示、テグス	
306	14号土坑	0.23	未計測	未計測	(0.75)	7.5GY5/4	常設展示、テグス	欠損
307	14号土坑	0.27	未計測	未計測	0.84	4G4/3.5	常設展示、テグス	
308	14号土坑	0.29	未計測	未計測	0.82	4G4/3.5	常設展示、テグス	
309	14号土坑	0.23	未計測	未計測	(0.52)	2.5BG2.5/2.5	常設展示、テグス	欠損
310	14号土坑	0.25	未計測	未計測	1.20	7.5GY5/4	常設展示、テグス	
311	14号土坑	0.28	未計測	未計測	0.90	4G4/3.5	常設展示、テグス	
312	14号土坑	0.22	未計測	未計測	1.07	7.5GY5/4	常設展示、テグス	
313	14号土坑	0.27	未計測	未計測	0.77	2.5BG2.5/2.5	常設展示、テグス	
314	14号土坑	0.25	未計測	未計測	(0.72)	4G4/3.5	常設展示、テグス	欠損
315	14号土坑	0.24	未計測	未計測	0.84	7.5GY5/4	常設展示、テグス	欠損しているが、全長は保っている。
316	14号土坑	0.25	未計測	未計測	1.05	4G4/3.5	常設展示、テグス	
317	14号土坑	0.25	未計測	未計測	0.69	5.5G3/5	常設展示、テグス	
318	14号土坑	0.24	未計測	未計測	0.71	7.5GY5/4	常設展示、テグス	
319	14号土坑	0.24	未計測	未計測	0.86	5G2.5/3	常設展示、テグス	
320	14号土坑	0.23	未計測	未計測	1.07	7.5GY5/4	常設展示、テグス	
321	14号土坑	0.26	未計測	未計測	1.08	5G2.5/3	常設展示、テグス	
322	14号土坑	0.27	未計測	未計測	0.87	2.5Y4/6	常設展示、テグス	
323	14号土坑	0.25	未計測	未計測	1.03	4G5/4	常設展示、テグス	
324	14号土坑	0.24	未計測	未計測	(0.90)	5G2.5/3	常設展示、テグス	欠損
325	14号土坑	0.21	未計測	未計測	0.78	4G4/3.5	常設展示、テグス	
326	14号土坑	0.25	未計測	未計測	0.82	5G2.5/3	常設展示、テグス	欠損しているが、全長は保っている。
327	14号土坑	0.22	未計測	未計測	0.88	4G5/4	常設展示、テグス	
328	14号土坑	0.25	未計測	未計測	(0.55)	4G4/3.5	常設展示、テグス	欠損
329	14号土坑	0.27	未計測	未計測	0.82	5G2.5/3	常設展示、テグス	
330	14号土坑	0.24	未計測	未計測	0.86	7.5GY5/4	常設展示、テグス	端部に長さ調整のための施溝痕の可能性あり。施溝分割後の研磨。
331	14号土坑	0.26	未計測	未計測	0.87	5G3/7	常設展示、テグス	
332	14号土坑	0.26	未計測	未計測	0.73	5G2.5/3	常設展示、テグス	
333	14号土坑	0.23	未計測	未計測	0.90	5GY5/5	常設展示、テグス	
334	14号土坑	0.24	未計測	未計測	0.66	10G2.5/5	常設展示、テグス	
335	14号土坑	0.25	未計測	未計測	0.82	4G4/3.5	常設展示、テグス	
336	14号土坑	0.26	未計測	未計測	0.72	5G3/7	常設展示、テグス	
337	14号土坑	0.23	未計測	未計測	1.00	4G4/3.5	常設展示、テグス	
338	14号土坑	0.28	未計測	未計測	0.74	5G3/7	常設展示、テグス	
339	14号土坑	0.23	未計測	未計測	0.81	4G4/3.5	常設展示、テグス	
340	14号土坑	0.24	未計測	未計測	(0.86)	2.5BG2.5/2.5	常設展示、テグス	欠損
341	14号土坑	0.22	未計測	未計測	0.97	5GY5/5	常設展示、テグス	
342	14号土坑	0.25	未計測	未計測	0.85	2.5BG2.5/2.5	常設展示、テグス	端部に長さ調整のための施溝痕あり
343	14号土坑	0.23	未計測	未計測	0.87	5G3/7	常設展示、テグス	
344	14号土坑	0.27	0.11	0.04	0.44	4G4/3.5	個別収蔵	
345	14号土坑	0.20	0.11	0.01未満	0.10	4G4/3.5	個別収蔵	
346	14号土坑	0.20	0.07	0.04	0.71	2.5G8.5/2.5	個別収蔵	
347	14号土坑	0.25	0.15	0.07	0.73	4G5/4	個別収蔵	
348	14号土坑	0.31	0.16	0.12	0.76	4G4/3.5	個別収蔵	
349	14号土坑	0.25	0.12	0.09	0.82	4G4/3.5	個別収蔵	
350	14号土坑	0.27	0.09-0.10	0.08	0.84	7.5GY5/4	個別収蔵	両側穿孔
351	14号土坑	0.24	0.14	0.08	0.78	2.5BG6.5/4	個別収蔵	
352	14号土坑	0.27	0.10-0.13	0.13	0.90	4G4/3.5	個別収蔵	片側穿孔の可能性あり
353	14号土坑	0.24	0.13	0.12	1.30	4G4/3.5	個別収蔵	

第2表 宇鉄遺跡出土の碧玉製管玉の計測値(2)

管玉番号	出土遺構	直径 (cm)	孔径 (cm)	重量 (g)	全長 (cm)	色調	報告書 (岩本ほか1979)	備考
1	28号土坑	0.80	0.26	0.11	0.08	4G4/3.5	第2図26	
2	28号土坑	0.83	0.31	0.17	0.11	4G4/3.5	第2図27	
3	28号土坑	1.00	0.30	0.09・0.12	0.15	4G4/3.5	第2図28	片側穿孔の可能性あり
4	28号土坑	0.93	0.31	0.15	0.14	4G4/3.5	第2図29	
5	1号墓	0.90	0.34	0.17・0.21	0.16	4G4/3.5	第3図2	両側穿孔か片側穿孔かは不明
6	1号墓	1.12	0.31	0.14	0.15	2.5BG2.5/2.5	第3図3	
7	2号墓	(1.20)	0.70	0.23	0.90	4G4/3.5	第3図6	破損品を再利用。
8	2号墓	1.75	0.63	0.24	1.09	2.5BG2.5/2.5	第3図7	破損しているが、全長は保っており完形品として取扱う。